

科目コード	E116
授業科目名	安全学
授業科目名（英文）	Safety Science
講義室等	6105
学科	産業衛生科学科
対象学年	1年
開講学期	前学期
必修・選択の別	選択
単位数	2
時間数	30
該当ディプロマ	◎産DP-2・作業管理学
該当コンピテンス	◎産CP-3、○産CP-4、△産CP-6
学科	
対象学年	
開講学期	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
該当コンピテンス	
担当教員	庄司 卓郎
授業の概要	いくつかの領域における事故事例などを通して、安全やリスクの概念と考え方を理解する。また事故の分析、状況の分析、グループワークによる討議、成果のまとめと発表（プレゼンテーション）に関わる手法を修得する。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 安全やリスクの概念、および安全管理、リスク管理を正しく捉えられるようになる。 2. 安全を脅かす事例について、自分なりのコメントができるようになる。 3. リスクアセスメントとグループワークによる討議とまとめ、成果の的確なプレゼンテーションができるようになる。
予習復習の所要時間	講義時間30時間(2時間×1コマ×15回)+予習・復習60時間
成績評価方法	グループ討論発表(50%)、課題レポート(50%)で60点以上を合格とする。
教科書	資料を授業において配付
参考書	村上陽一郎著「安全学」1998年（青土社）（既蔵書） 芳賀繁著「ミスをしない人間はいない ヒューマン・エラーの研究」2001年（飛鳥新書）（既蔵書） 村上陽一郎対談集「安全学の現在」2003年（青土社）（既蔵書）
その他	

非常勤講師(学内: 1 学外: 2)

回	年月日	曜日	時限	授業項目	授業の形態	講師	非常勤	備考
1	R6. 4. 12	金	IV	「安全」の概念 予習 「安全」とはどんなものか考えてみる 復習 「安全」の概念を再確認	講義・発表	庄司 卓郎		
2	R6. 4. 19	金	IV	「安全研究」の手法1: ブレインストーミングとグループワーク 予習 質的データとは何か調べる 復習 ブレインストーミングをやってみる	講義・グループワーク・発表	庄司 卓郎		
3	R6. 4. 26	金	IV	「安全研究」の手法2: KJ法 予習 データを集約することの必要性について考える 復習 KJ法でデータをまとめてみる	講義・グループワーク・発表	庄司 卓郎		
4	R6. 5. 10	金	IV	KY (危険予知) とリスクアセスメント 予習 KYについて調べる 復習 日常生活でKYをしてみる	講義・グループワーク・発表	庄司 卓郎		
5	R9. 5. 17	金	IV	ヒューマンエラー I 予習 日常体験する小さな失敗を思い出してみる 復習 日常の失敗がどのような原因で起こるか分析する	講義・グループワーク・発表	庄司 卓郎		
6	R6. 5. 24	金	IV	ヒューマンエラー II 予習 ヒューマンエラーを防止する工夫について考える 復習 身近なエラーの防止法をいくつかの切り口から考える	講義・グループワーク	庄司 卓郎		
7	R6. 5. 31	金	IV	リスク認知 予習 人がリスクを過小/過大評価しているケースはどんなものか 復習 普段の生活で過小評価していたリスクを考える	講義・グループワーク	庄司 卓郎		
8	R6. 6. 7	金	IV	日常生活のリスクアセスメント 予習 毎日の生活の中で起こる可能性のあるトラブルを考える 復習 生活の一場面を取り上げてそこで発生する可能性のあるトラブルを挙げてみる	講義・グループワーク・発表・演習	庄司 卓郎		
9	R6. 6. 14	金	IV	製品安全 予習 日常生活で利用する製品・設備の危険を抽出する 復習 技術者が守るべき倫理とは何か	グループワーク・発表	庄司 卓郎		
10	R6. 6. 21	金	IV	研究倫理と技術者倫理 予習 自然科学研究における倫理について考える 復習	講義・グループワーク	庄司 卓郎		
11	R6. 6. 28	金	IV	実験室の安全 予習 1年次に行う実験で起こりうる事故について考える 復習 1年次の実験で何に気をつけるべきか考える	講義・グループワーク	熊崎美枝子	2	
12	R6. 7. 5	金	IV	組織の安全文化 予習 組織事故とは何か 復習 組織で安全を守ることの必要性について考える	講義・グループワーク	庄司 卓郎		
13	R6. 7. 12	金	IV	危機管理 予習 「危機」とは何か 復習 日常生活でしなければならない危機管理について考える	講義・グループワーク・発表・演習	庄司 卓郎		
14	R6. 7. 19	金	IV	安全に関するディスカッション 予習 事例について: あなたがその立場ならどうすべきだったか 復習 事例について: 問題解決の方法について考える	講義・グループワーク・発表・演習	庄司 卓郎		
15	R6. 7. 26	金	IV	「安全研究」の今後 予習 日本において「安全」の認識で足りないものは何か 復習 この講義で分かったこと、分からなかったことを考える	講義・グループワーク	庄司 卓郎		